

戸外の鳥たちへのトリビュート

私は北信州の出身で、幼い頃から自然の音や虫や鳥の声といった環境音に囲まれて育ちました。当時セキセイインコを多頭飼っていたこともあり、こうして鳥をテーマとする曲を作ることは、当時の記憶に寄り添うような懐かしさを覚えます。

オーケストラによる前奏に続いて登場する合唱の歌詞には、フランスの詩人セシル・ソヴァージュの『Primevère』から、「鳥」という単語が出てくる冒頭部分を取り上げました。日本語でサクラソウを意味するタイトルの通り、春の訪れの表現がフランス語で歌われます。オーケストラパートにはフランスの作曲家オリヴィエ・メシアンが採譜した鳥の歌の中から、日本の鳥のものを抜粋して引用しています。メシアンは世界中の鳥の歌を楽譜に書き取ってアーカイブするほどの鳥マニアで、1962年に日本に初めて来日した際にも、軽井沢や山中湖などの鳥の歌を採譜し、自身の作品にも用いています。

後奏は再びオーケストラが中心となり、静かな雰囲気の中で曲を終えます。時折挿入される長い停止は、単なる音の引き延ばしだけではなく、とても繊細な音の揺れや掠れを含み、ぴんと張った一本の糸が震えるかのような緊張感のある音の情景を作り出します。非常にかすかな音ではありますが、曲全体のクライマックスの一つと言えるでしょう。

作曲家 **山本哲也** TETSUYA YAMAMOTO

国立音楽大学大学院作曲専攻、フランス・リヨン国立高等音楽院作曲科、ベルギー・モンス王立音楽院指揮科の修士課程を修了。久石譲主催「Music Future Vol.9」第4回Young Composer's Competition優勝、イル＝ド＝フランス国立管弦楽団主催の作曲コンクール「Île de créations 2018」優勝、第6回A.ドヴォルザーク国際作曲コンクール第1位および特別賞など、国内外の多くのコンクールにおいて受賞・入選を重ねている。国立音楽大学非常勤講師、現代音楽を専門とする演奏団体アンサンブル・リカレンスの音楽監督／指揮者。犬派・猫派よりは鳥派。



神戸市室内管弦楽団
Kobe City Chamber Orchestra



神戸市混声合唱団
Kobe City Philharmonic Chorus



KOBE
国際音楽祭
2025
Kobe International
Music Festival 2025

こどもコンサート2025 いろいろトリトリの音楽会



© YAGI.Hidetomo / AbleArtCompany

2025 **8/3** (日) 14:00開演 **休憩なしの1時間**

神戸文化ホール 大ホール

主催：(公財) 神戸市民文化振興財団

助成：(一財) 地域創造、文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



プログラム

ラウタヴァーラ：鳥とオーケストラのための協奏曲より第1楽章

ベートーヴェン：交響曲 第6番「田園」第2楽章より

ジャヌカン：鳥の歌

村井邦彦／福井利雄 編曲：翼をください

河村光陽：かもめの水兵さん

木下牧子：オペラ『不思議の国のアリス』
1幕3場「涙の洪水」より

山本哲也：戸外の鳥たちへのトリビュート(世界初演)

公演をお楽しみいただくために

この公演は、普段のクラシックコンサートに比べリラックスした環境で、誰でも音楽を楽しむことができるよう、下記のような工夫をします。



客席で動いても音がでてもいい



演奏中でも自由に入退場ができ休憩できる



照明が完全に暗くならない

指揮 **坂入健司郎** KENSHIRO SAKAIRI

慶應義塾大学経済学部卒業。指揮を三河正典、山本七雄の各氏に、また、指揮講習会等を通じてV.フェドセーエフ、飯守泰次郎、井上道義、井上喜惟、小林研一郎各氏の下で研鑽を積んだ。2008年、東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成。16年には川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。20年、シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をリリース。注目を集める。

これまでにモンテカルロ・フィル、読響、日本フィル、新日本フィル、シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、山形響、群馬響、名古屋フィル、セントラル愛知響、愛知室内、大阪フィル、大阪響、京都市響、兵庫芸術文化センター管、九州響などと共演。N響との初共演は「内容のある初共演」(音楽の友)と評された。



© T.Tairadate

神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981年、神戸市によって設立。弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。2021年に鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会その他、地域へのクラシック音楽普及など、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。



© SHIMOKOSHI HARUKI

[コンサートマスター] 西尾恵子

[ヴァイオリン] 森岡 聡 井上隆平 黒江郁子 幸田聡子 谷口朋子

中山裕子 二橋洋子 萩原合歓 前川友紀 農頭奈緒*

[ヴィオラ] 川口さくら* 中島悦子 横井和美 中田美穂*

[チェロ] 伝田正則 山本彩子 中島紗理*

[コントラバス] 長谷川順子 デピューリー雪乃*

[フルート] 清水信貴 赤星佳穂

[オーボエ] 岡山理絵 伊藤早紀*

[クラリネット] 上田 希 東出菜々*

[ファゴット] 赤土仁菜 大野涼華*

[ホルン] 根本めぐみ 岩井理紗子*

[トランペット] 小曲俊之* 木下未恵*

[トロンボーン] 宮下 悠*

[ティンパニ] 森山拓哉

[パーカッション] 佐野響平*

[チェレスタ] 中村圭介

[ハープ] 佐々木千恵*

*…客演奏者

神戸市混声合唱団 Kobe City Philharmonic Chorus

1989年に神戸市が設立したプロフェッショナル合唱団。密度が高く澄みきった美しいハーモニーは高い評価を得ている。年に2回の定期演奏会のほか、姉妹団体である神戸市室内管弦楽団との合同演奏会も行う。音楽監督・佐藤正浩とともにさらなる飛躍に努め、文化振興や社会公益活動にも注力している。



© H.Ozawa

[ソプラノ] 岩本実奈子 奥田 愛 金岡伶奈 鹿岡めぐみ 杉浦希未

内藤里美 端山梨奈 伏見菜奈 丸山晃子 三河紀子

[アルト] 大賀真理子 高原いつか 野上貴子 長谷川明莉 林 真衣 久光美早紀 村井優美 山田愛子

[テノール] 磯本龍成 岡村武琉 佐々木涼輔 鹿岡晃紀 総毛 創 谷口文敏 眞木喜規 三木秀信

[バス] 内山建人 大西 凌 嶋本 晃 砂場拓也 谷本尚隆 西尾岳史 松森 治 美代開太 宮尾和真

[ピアノ] 河内仁志 金月里紗 中村圭介 松永玲子

脚本・演出: 飯川直子 ナビゲーター: 岩本実奈子 嶋本 晃